

# 24 年度事業報告書

自 平成 24 年 4 月 1 日  
至 平成 25 年 3 月 31 日

株式会社 福井開発

## 平成 24 年度事業概況の報告

デフレから抜けきれずに停滞していた国内景気も昨年の政権交代により円安株高への政策転換が功を奏し、緩やかな上昇傾向が見られ景気回復の兆しが見られますが、地方、特に我々小規模事業者にとっては依然厳しい環境が続き、円安株高の恩恵を受けるにはまだまだ時間が掛かると思われます。

「じよんのび館」を取り巻く環境も大きな岐路に立たされ、昨年 9 月に新潟市事業仕分けで「日帰り温泉施設の管理運営」について議論され、民営化と言う意見が多数を占め今後の運営状況が大きなウェートを占めることとなりました。

このような中で、健全経営に回復できるように懸命に努力してまいりました。その結果、入館者は 3 年連続での増加となり前年度より約 400 人増加して 146,007 人とやや下げ止まり感を感じました。しかし、売上高では客単価の下落傾向が年度初めから続いたため厳しい経営となり、オープン間もなくから始めた夜間大人入館料 500 円を初めて 100 円値上げに踏み切り経営改善に努めましたが、食堂売上などでの落ち込みが大きく客単価で前年から 43 円も減少しました。一方で販売費及び一般管理費ではとにかく人件費の削減に努力しました。正社員の人数を減らすなどで頭数が減少した結果、前年度より 750 万円を削減し販管費合計でもここ数年で過去最低に留めることができました。

その結果、経営状況では、売上実績が 2 億 5 千万円まで落ち込んだことが大きく響き、前年度よりは損失額が改善されたものの今期も力及ばず当期損失を計上し、当期純損失額が 252 万円となってしまいました。

25 年度は開館 20 周年を迎えます。今までご来館いただいたお客様に感謝するとともに新たなスタートを切る気持ちで従業員全員一丸となり、感謝の記念イベントを実行した上、更にサービスの質を高めることで黒字転換の達成が出来るよう努力いたす所存です。新潟市ご当局をはじめ株主各位並びに関係各位の一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

## 平成 24 年度管理状況の報告

### 1. 施設全般について

じょんのび館の施設においては、お客様には絶対に事故が無いようにとの市当局よりご配慮をいただき、今年度も修繕の予算を計上していただきました。両浴槽内の天井及び天井内の空調ダクト改修工事並びに小部屋の空調機改修工事を実施していただきました。当社といたしても事故の無いよう自分達で対応できる修繕については、業者に頼らずに自ら行い施設整備に努め、並びに経費の削減にも努力して参りました。また、施設と共にお客様の生命をお守りする意味で義務となっている 2 回の消防訓練の他に、今年度は救命講習も実施しました。希にお客様がお風呂場で倒れて救急車を呼ぶことがあります。従業員全員が救命講習を受けることによりお客様の命を救える場面に遭遇する可能性もあります。今後、救命講習は消防訓練と共に毎年実施したいと考えております。施設が 20 年を過ぎて老朽化が進んでおります。備品類と併せて施設管理には事故等が無いよう万全を尽くしたいと考えております。

角田山自然館は健康ブームや花の観賞での登山客が増えている角田山を理解してもらうため、無料で開放し、清掃や施設管理に当たっております。

ほたるの里公園は 6 月の源氏ボタルが飛ぶ時季には、たくさんのお客様が見に来られます。園内の芝刈りや公衆トイレ等、施設の保全に努めております。

### 2. 衛生面について

毎年度、当然のことながら「レジオネラ菌」や「大腸菌」の発生しないように万全を努めております。入浴施設である当館にとって菌を発生させる事はお客様の信頼を裏切るものであり、致命的と考えております。当社では、毎日、営業終了後に全身浴のお湯を落とし清掃するほか、毎日 4 回の塩素検査を行い菌の発生防止に努めております。また、新潟市保健所による浴槽水の細菌検査が実施された場合でも、適切に対応できるように万全を期しております。その他貯湯槽や貯水槽など法定検査が実施されるものについても必ず検査を行っております。

食堂部門での食中毒の発生もお客様の信頼を大きく裏切るものであり、重大な問題です。毎日の営業終了後には必ず清掃を行い、また、害虫等の駆除に関しては業者に依頼し最大限の努力を払っております。

また、空調関係は、週一回館内空調施設のフィルター交換や脱衣室では二日に一回の間隔で交換を行い、快適な空間を保持するため点検等を実施しております。

## 《入館者状況の報告》

平成24年度の入館者状況は、21年度で過去最低を記録した減少から3年連続で増加となり、やや下げ止まり感を感じられました。但し、月別で前年を比較しますと殆どの月で前年を下回っており、前年度2月での大雪による大幅な入館者減の反動が無ければ厳しい状況となっており、決して楽観しはできない状況です。

以下、年度内入館者及び累積入館者数は下記の通りです。

月別対前年入館者数 (単位:人)

	24年度	23年度	増減
4月	11,912	11,997	-85
5月	12,810	13,016	-206
6月	11,209	10,344	865
7月	12,637	12,766	-129
8月	16,004	16,784	-780
9月	12,571	12,917	-346
10月	11,097	11,435	-338
11月	11,110	11,242	-132
12月	10,157	10,286	-129
1月	13,305	13,004	301
2月	11,407	8,945	2,462
3月	11,788	12,803	-1,015
	146,007	145,539	468

過年度実績 (単位:人)

5年度	213,723	15年度	194,574
6年度	232,685	16年度	169,333
7年度	281,724	17年度	174,953
8年度	281,696	18年度	173,670
9年度	267,142	19年度	165,670
10年度	256,181	20年度	156,322
11年度	252,034	21年度	143,203
12年度	228,453	22年度	145,119
13年度	214,617	23年度	145,539
14年度	195,260	24年度	146,007
		総合計	4,037,905

## 平成24年度 設備管理業務（定期作業）報告書

業務名		基準周期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
防災設備管理業務	自動火災報知設備	1回/6ヶ月						○						○
	ガス漏れ警報装置	1回/6ヶ月						○						○
	消火器具	1回/6ヶ月						○						○
	屋内消火栓設備等	1回/6ヶ月						○						○
	誘導灯、誘導標識	1回/6ヶ月						○						○
	防火排煙設備	1回/6ヶ月						○						○
	非常自家発電設備	1回/6ヶ月						○						○
空調設備（本館）	2回/年		○	○					○					
空調設備（新館）	1回/年													
電気設備	12回/年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
害虫駆除	6回/年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2	○	○	○
飲料水水質（水質）	1回/年			○										
貯水槽清掃	1回/年			○										
合併処理浄化槽	2回/月	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
給湯ボイラー	1回/1年												○	
自動ドア	3回/年	○					○				○			
浴槽水水質検査	6回/年		○		○			○		○		○		○
新潟市保健所の水質検査										○				
簡易専用水道検査					○									
法定排水検査			○									○		
厨房施設点検											○			
フロント会計システム点検			○					○	○					
浄化槽法定検査											○			

※ 作業を実施した月に「○」、同一月に複数回の場合は「回数」

### 総括・評価

今年度の設備管理業務においては滞りなく実施しております。指摘された点については対応済みです。

## 平成24年度じよんのび館自主イベントの開催報告

昨今、類似施設の建設に伴い厳しい経営状況となってきていますが、24年度も各種イベントを開催し入館者の増加を目指しました。イベントの内容及び実績については下記の通りです。

### \* 自主イベントの開催状況

開催日	イベントの内容	集客数	会場
4月中旬～5月13日	母の日ギフトセット販売		
5月中旬～6月19日	父の日ギフトセット販売		
6月23、29日	エルデニズーの演奏会	300人	大広間
7月12日	カラオケ発表会	200人	大広間
7月21日～8月11日	フラッペフェア		
11月13日	カラオケ発表会	120人	大広間
12月13日	お話の会「かたくり」主催 日本の昔話と演歌	100人	大広間
12月22日～25日	クリスマスイベント		館内
1月2日～1月3日	お正月(新春)イベント		館内
3月7日	カラオケ発表会	180人	大広間

上記内容につきましては、月次の事業報告書の通りとなります。